



# 10人のおとめ



5人は、夜通しランプに明かりをとすのに十分な油を備えていましたが、5人はそうではありませんでした。



10人の女性が婚礼のために花婿を待っていました。

花婿の到着が告げられたとき、彼女たちが目を覚ますと、ランプは消えかけていました。



花婿は遅れ、おとめたちは暗闇の中で何時間も待ちながら、眠りに落ちました。



5人の思慮深い女性たちは、ランプに再び火をともしせるようにもっと油を加えていました。しかし、油を切らしてしまった5人の思慮の浅い女性たちに分けてあげるだけの油はありませんでした。

思慮の浅い5人が油を探している間に、花婿がやって来ました。



思慮の浅い5人は婚礼に遅れ、入れてほしいと頼みました。

しかし花婿は「あなたがたはわたしを知らない」と言い、彼女たちは取り残されました

(ジョセフ・スミス訳マタイ 25 : 12 (英文) から和訳)



「だから、目をさましていないさい。その日その時が、あなたがたには分からないからである。」

マタイ 25 : 13

## どういう意味でしょうか？

救い主は、この話は主の再臨についてであると言っておられます (教義と聖約 45 : 56-59 参照)。備えていなければ、わたしたちは主の民として認められないでしょう。主が再び来られるとき、わたしたちはほかの人々の証に頼ることはできません。自分自身の証が必要です。聖霊の導きを受けなければなりません。そうしなければ、救い主が再び来られるときに、わたしたちは救い主にお会いする備えができていないことになります。



10人の女性：  
キリストの教会の会員



花婿：  
イエス・キリスト



花婿の到着：  
イエス・キリストの再臨